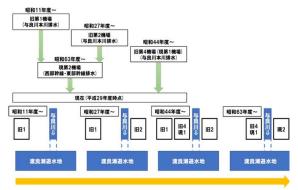


① これまでの栃木南部地域について

江戸時代より、大爾による湛水被害が多く、 かたらまがわかいしゅうこうじ 渡良瀬川改修工事として 1910年 (明治43年) から 1922年 (大 正 11 年) にかけて、渡良瀬 遊水地が整備されました。また、遊水地に つながる思川・巴波川の整備が進んだこと で、周辺地域も耕地化されました。 その後、与負別水系においても洪水時の 排水対策として、県営事業により排水機場 及び排水路の整備が実施されました。



② これからの社会変化にそなえて

ピゅうぶん はいすいきのう はっき 十分な排水機能を発揮できない状況にあり ます。また、近年は降雨形態の変化により 水害も激甚化する傾向にあります。このため、 のうりんすいさんしょう 農林水産省により排水機能を強化する計画が 立てられ、2016年度 (学版28年度) から国営事業に より施設の改修工事が実施されています。







与良川統合排水機場

·荒川排水機場

小山栃木排水路

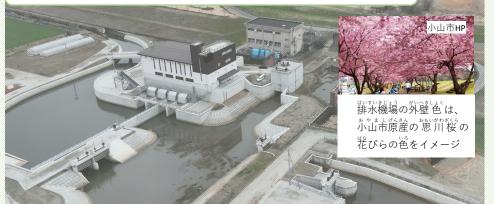
綾川排水路

新波東幹線排水路

総受益面積 3.619ha 水田3,480ha 畑 139ha

③ 国営事業の要を担う 与良川統合排水機場

るうますうか 老朽化した既設の2基の排水機場を統合して、新しい排水機場を 整備することで、排水機能を強化し、地域の湛水被害の軽減を図り ます。与良川統合排水機場は、国営事業の要を担います。









管理棟3階操作室



与良川統合排水機場の完成をむかえて・・・関係者のメッセージ



本工事は、工事期間が着工から53カ月1,617日と長きに渡る中、前田建設工業さんは、土木部門・建築部門それぞれで、高度な施工技術、優れた施工管理により工事を履行されるとともに、「与良川通信」の発行などにより地域の皆様との交流にも多大なご尽力をいただきました。おかげさまを持ちまして、与良川統合排水機場は地域の排水機能を担う新たな排水機場として無事完成を見ることができました。

この場をお借りしまして、与良川作業所をはじめ本工事に携わられた工事関係者の皆様、地域をはじめ本工事にご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。



前田建設工業株式会社 与良川作業所 所長

吉田 俊明





本工事は、軟弱地盤上に川の水を切回しながら複雑な形をした構造物を構築する難易度の高い工事でしたが、良い発注者の方々に恵まれ、高度な技術力を持った協力会社の力によって、また、暖かい目で見守っていただいた地域の方々のおかげで無事故かつ早期に最高品質の新排水機場が完成致しました。今後末長くこの地域を水害から守ってくれることを願っております。



小山市前市長 大久保 寿夫

私は寒川生まれの寒川育ち、洪水の恐そろしさは子供の頃から身も心にも染み込んでいます。その為、1973年の農水省入省、2000年の小山市長就任を通じ、一貫して老朽化著しく維持管理費の増大する第1・第2排水機場の国営による「与良川統合排水機場建設工事」の実現をライフワークとして参りましたが2016年8月に国営かんがい排水事業として着手され、この度完成を見ました事は地域の安全確保にはもとより維持管理費の軽減にとっても大きな慶びであり、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。又、「与良川通信」の発行、誠にありがとうございました。



前田建設工業株式会社 顧問 勝山 達郎

強く印象に残る二点があります。一点目は、着工間もなく台風が直撃し地元 関係者から一日でも早い排水機場運用の要望があり、当社の技術陣による 「地盤改良・無支保工掘削」のVE提案により、1年早い2023年5月に運転開 始ができたことです。二点目は、渡良瀬遊水地内人工巣塔の「コウノトリの ひな誕生」で、地域貢献の一環としての足輪装着協力を行いました。嬉しい ことに、ひなが連続で誕生したことです。

排水機場完成!農政局、地元、現場関係者の皆さんに心から感謝します。



前田建設工業株式会社 常務理事 原川 忠典

栃木南部地区は平成28年度に着工しましたが、私は当時、農林水産省で国営事業の新規着工に携わっていました。平成27年度の関東・東北豪雨もあり、小山市、土地改良区の関係者が何度も農水省を訪問され、早期着工を強く要望されていたことが記憶に残っています。

このたび、施工会社の一員として、完成に関わることができ、感慨深いものを 感じております。本当におめでとうございます。



前田建設工業株式会社 与良川作業所前所長 落合 秀和

令和元年9月に受注し、そのわずか2週間後の10月に台風19号による大雨冠水被害が栃木県西部でも多発しました。このとき渡良瀬遊水地では茶色く濁った水が堤体まで残りわずか1メートルまで迫り、加齢40年超の現排水機場が二昼二夜必死の運転を続け何とか農地の湛水被害を免れたことを思い出します。わたくしどもゼネコンマンにとっては、ひとつの土木工事ではありますが、なぜそこに今建てるのか?できあがったあとその建物はどう役に立つのか?まで思いを巡らせ、あらゆる技術者が一致団結協力してこの五年間つくりあげてきました。ここに完成を迎え感無量であります。この施設が大雨出水時に「きちんと役に立つ」ことをご祈念申し上げます。

これまでのあゆみ

2019年 10月 ~ 2024年 3月

令和元年 **2019**年





工事安全祈願祭

^{令和2年} **2020**年





2020.7.12 (第一回目) コウノトリ足環取付作業協力

令和3年 2021年





下生井小学校出張授業

令和4年 2022年





2022.12.12 公開 土木学会tv「となりの現場めし」

^{令和5年} 2023年

令和4年の着任以来編集を担当させていただき、大変貴重な経験を積ませていただきました。地域の皆様、農業農村整備事業に関わる多く





2023.5.31 全国農村振興技術連盟オンラインセミナー リモート現場見学会

令和6年 2024年





4.2.20 白鳥八幡宮古式祭礼参加